

国指定重要文化財です。
(授産場+マカロニ工場+ド・口堀)



授産場



授産場 1階内部



マカロニ工場

マカロニ工場は、内部を東西2部屋に仕切り、西室には中2階を設け、東室には東側壁近くに鉄製かまどが設置されていました。当時は「マカロニ部屋」とか、蔵のような家なので「クライエ」と呼ばれていたようです。

資料によると、大きな作業台が置かれた部屋の中には、西洋から取り寄せたマカロニやパスタの製造機などが設置されていたと思われ、現在でも西室の土間には機器を固定したボルト跡が残っており、当時、マカロニやパスタ等を製造していたことが想像できます。

利用のご案内

開館時間 火～土 9:00～17:00(最終受付16:30まで)
日曜日 8/15、11/7、12/25、11:00～17:00
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日) 12/29～1/3



※写真撮影はご遠慮ください。

旧出津救助院周辺のミュージアムと文化遺産

旧出津救助院周辺には、潜伏キリシタンの時代の文化遺産やド・口神父の足跡をたどることの出来る遺産やミュージアムがあります。



● 長崎市ド・口神父記念館
TEL 0959-25-1081



● 長崎市外海歴史民俗資料館
TEL 0959-25-1188



● 長崎市遠藤周作文学館
TEL 0959-37-6011

「ミュージアム県ながさき」

そのほかにも、長崎県内には、外海地区を“ふるさと”とするキリスト教文化を伝えるミュージアムやド・口神父とゆかりのあるミュージアムなど、様々なミュージアムがあります。



くわしくは、パソコン：<http://tabinaga.jp/museum/>
携帯：<http://tabinaga.jp/museum/m>

〒851-2322 長崎市西出津町2696 番地 1
TEL 0959-25-1002 FAX 0959-25-1006
E-mail:kyujoin@dorosama.jp

旧出津救助院



授産場の文化財としての 価値と保存

「外海の人々を貧しい生活から救いたい」

旧出津救助院は、フランス人マルコ・マリー・ド・ロ神父の、カトリックの信仰を礎とした深い人類愛によって設立された授産活動の場です。



旧出津救助院の施設群の中心となる授産場では、綿織物の製糸から製織、染色、そうめんやパンの製造、醤油等の醸造が行われていました。桁行約 19.4m、梁間約 5.2mの二階建て、洋風技術との折衷的構法と、「ド・ロ塀」のように外海地域固有として定着した技法が用いられている建物は、明治初期における西欧建築技術受容の発端を知る上で重要です。

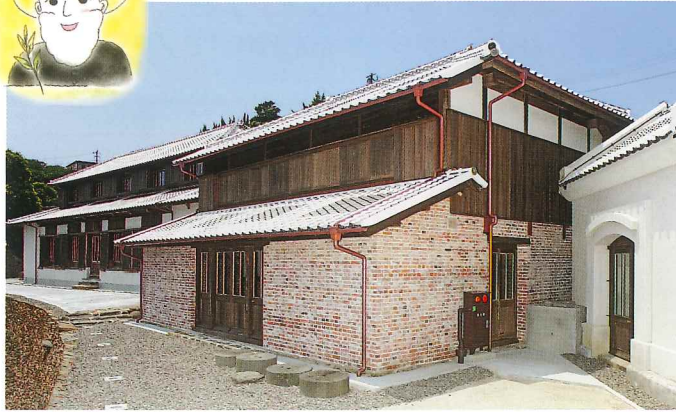
また当時、建築工事そのものが授産事業でもあり、西洋の施設・近代的な福祉思想を持ち込んでのド・ロ神父の活動は、近代日本の文明開化を寒村から行った輝かしい業績の一つと言えます。

100年以上経った今も健在する「ド・ロ塀」



当時、日本で石積み
の接合剤として使
用されていたアマ
カワが雨に打たれ
るのに弱いのを
見たド・ロ神父
は、代わりに赤
土を水に溶かし
て石灰と砂をこ
ね合わせたもの
で接合し、

地元の自然石を不規則に積み重ねた丈夫な「ド・ロ塀」を考案したと言われ、授産場の基礎や壁体の大部分に使用しました。



旧製粉工場



旧製粉工場 1階内部



薬 局



畑での体験

救助院から車で約
おおだいら
10分。大平に、ド・ロ
さまたちが開墾した
畑があり、茶摘みや
芋ほり体験ができま
す。救助院では、茶
煎り体験やかんころ
作りも行えます。



食の体験

大平で出来た作物を使って、ド・ロさまにちなんだ料理体験を、旧製粉工場1階で行います。



授産場2階は、通常は静かに祈れる場。時折、コンサートや講演会も行われます。